

## **HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY**

**APRIL 16-30, 2005**

特定保健用食品制度の見直しが進められている。現行の特保制度では、個別申請・許可制がとられているが、新たに 規格基準型、条件付き特保、疾病リスク低減が検討されている。「規格基準型」とは、既に複数の特保商品に配合されている関与成分に関して、一定の規格基準を設け、個別審査を受けずとも特保の許可を与えるものである。「疾病リスク低減」に関しては、カルシウムの骨粗鬆症リスク低減、葉酸による胎児の神経管閉鎖障害のリスクの2つが候補として検討されている。そして、様々な議論を生んでいるのが「条件付き特保」である。米国の法規制を参考にしたと思われるが、「十分な科学的根拠のレベルには届かないものの一定の有効性が確認された」商品に対して許可が与えられる。「科学的根拠」のレベルの設定には、今後議論が重ねられることになる。しかし、たとえ「条件付き特保」が制定されたとしても、「一定レベルの科学的根拠がない」、「健康に効果があるかもしれない」というヘルスクレームが消費者にどう受け止められるのか、果たしてマーケティング上、プラスになるのかは疑問である。今後の動向が注目される。

### **NEW PRODUCTS**

#### **三共、アミノ酸など追加配合の朝用ドリンク剤「スタートアップリゲイン」を発売**



三共は、医薬部外品ドリンク剤「スタートアップリゲイン」を5月16日より、薬局・薬店、コンビニエンスストアや駅売店などを通じ、新発売する。「スタートアップリゲイン」は、ドリンク剤が飲まれることの多い「朝の栄養補給」をコンセプトとして、独自開発の滋養強壮成分「リバオール」と持続性ビタミンB1誘導体「ピオタミン」をベースに、アミノ酸「BCAA & アルギニン」などを追加配合したリゲインシリーズの新アイテム。メインターゲットは、通勤途中のビジネスマン・ビジネスウーマン。(三共プレスリリース 4月18日)

#### **エスエス製薬、タバコを吸う人のためのニコエン配合旨味緑茶「一服健茶」を発売**

エスエス製薬は、タバコを吸う人のためのニコエン(植物抽出エキス)を配合した、旨味緑茶「一服健茶」(いっぷくけんちゃ)を5月23日より、全国のコンビニエンスストア先行で新発売する。「一服健茶」は、韓国政府より公的な助成を受けた韓国リージェンバイオテック社と水原大学が共同で開発したエキス「ニコエン」(りんご、セロリなど11種類の植物から抽出された天然エキス)を世界で初めて飲料に配合した緑茶。(エスエス製薬プレスリリース 4月20日)



## TECHNOLOGY UPDATES

### 花王、内臓脂肪計を開発、半年後に商品化の見通し

花王は、大阪大学の松澤佑次教授らと共同で、生活習慣病の主要な成因基盤である内臓脂肪量を正確、簡単、かつ安全に測定する、バイオインピーダンス分析(BIA)法による内臓脂肪面積(VFA)計の開発を進めている。約半年後に発売できる見通し。(日経 FOOD・SCIENCE 4月18日)

## COMPANY NEWS

### 江崎グリコと王子コーンスターチ、食品素材「ポスカ」を水溶性カルシウム素材として発売開始

江崎グリコと王子コーンスターチは、江崎グリコが物質を開発し、王子コーンスターチが量産化技術を開発・確立した食品素材ポスカ(POs - Ca:リン酸化オリゴ糖カルシウム)を、水溶性カルシウム素材として本年5月より一般の食品ユーザー向けに販売を開始する(歯の再石灰化用途を除く)。カルシウム素材の用途としてはカルシウム強化飲料やカルシウム強化食品、またカルシウムを特に必要とする乳幼児や高齢者向け食品への応用が期待される。(江崎グリコ・王子コーンスターチプレスリリース 4月21日)

### 大塚製薬、中国の豆乳トップメーカー「徐州維維食品飲料有限公司」に資本参加

大塚製薬は、五豊食品有限公司が所有する中国の上場企業 徐州維維食品飲料有限公司に資本参加する。大塚製薬および大塚(中国)投資有限公司の所有する株式は、徐州維維食品飲料有限公司の全株式の29.9%となり、株主順位2位になる予定である。大塚製薬は、今回の契約により、今後、徐州維維食品飲料有限公司と各種技術、製品ノウハウの提供を含む業務提携を進め、中国における栄養製品事業の基盤強化に努める。徐州維維食品飲料有限公司は、江蘇省徐州に本社を置き、牛乳、豆乳、粉乳などの食品、飲料の製造販売メーカーで、中国豆乳粉市場の約70%のシェアを持つ。(大塚製薬プレスリリース 4月27日)

### サントリー、「サンテンチャ」に次いで「サンウーロン」も丸善製薬へ

サントリーは健康食品素材「サンウーロン」の販売事業を2005年7月1日から丸善製薬にライセンスする。効果や安全性の試験データ、分析法などのこれまでにサントリーが得ている関連知財権の使用も同時にライセンスし、販売に応じてロイヤルティーを得る。ライセンスフィー、ロイヤルティー金額は公表していない。サントリーは、通販事業への集中、素材事業の整理を進めている模様だ。(4月28日 日経 FOOD・SCIENCE)

## MLM COMPANY NEWS

### レガシー・フォー・ライフ、年内にもグランドオープン

免疫強化サプリメント「イミューン 26」などをネットワークビジネスで展開している米国のレガシー・フォー・ライフは、2004年3月に日本準備委員会を発足、プレマーケティングを行なっている。年内にも会員1万人を獲

得して、グランドオープンする計画だ。同社の主力商品は、にわとりが卵に免疫物質を凝縮させるという「ハイパー免疫エッグテクノロジー」を応用した「イムーン 26」で、米国特許を 130 件取得している「科学的に証明され、他社に真似のできない商品」(日本開業準備室、デイビッド・フェンダー代表)という。同社の約 20 種類の商品全てに「イムーン 26」が使用されている。7 月には、「イムーン 26」を配合したスキンケア商品を投入する。日本上陸当初は、正式開業までに、会員 1000～2000 人の獲得を計画していたが、スキンケア投入により、1 万人へ上方修正した。(日本流通産業新聞 4 月 21 日)

### エックスワン、8 年ぶりに関西で大会

ダイエー系 MLM 企業のエックスワンは、4 月 17 日、全国の会員を集めた「エックスワン・フィエスタグランデ 2005」を神戸で開催し、全国から会員ら約 1350 名が出席した。関西地区での開催は 8 年ぶり。同イベントでは、「フィールドと会社との共同運営による一体感の醸成をめざし」、会員メンバー及び同社のフィールド担当の 2 人が司会を務めるという初の試みをとった。イベントのエンディングメッセージとして川上社長が、いつも世界を見つめ、未来を考えるというコンセプトと、商品開発のあり方を語った。(日本流通産業新聞 4 月 21 日)

### 日本ネイチャーズ・サンシャイン、2005 年第一四半期大幅増収

日本ネイチャーズ・サンシャイン・プロダクツ(NSPJ)の 2005 年第一四半期(1～3 月)の売上高は、前年同期比で 80%近く増加した模様。前期第一四半期は、米国で発生した BSE の影響を受け、カプセルの代替を強いられ、売上が減少した。一方、今期第一四半期は、2 月に発売した健康飲料「ザンブローザ」(マンゴスチンをはじめとした 10 種類の抗酸化力の高い果実及びハーブを配合)の好調な売上、オートデリバリーの増加により、売上が増加した。2003 年同期比でも 30%増収を遂げた。ザンブローザは、3 月単体で 3,800 本を販売。2～3 月の新規登録会員数は、前年同期比 20%増の模様。(訪販ニュース 4 月 28 日号)

## FOSHU MARKET

### 特定保健用商品 総数 495 品目に到達

2005 年 3 月 29 日に厚生労働省が新たに 12 の商品について特定保健用食品の表示を許可し、特保総数は 495(国内生産品の許可 493 + 海外生産品の承認 2)となった。(日経 FOOD・SCIENCE 4 月 18 日)

### 白子、海苔オリゴペプチドで特保取得

リ加工品最大手の白子が、特定保健用食品市場へ新規参入を果たす。海苔オリゴペプチド(リペンタペプチド AKYSY として)を関与成分とする高血圧対策特保「毎日海菜 海苔ペプチド」(粉末清涼飲料)について、2005 年 3 月 29 日に厚生労働省の表示許可を取得した。(日経 FOOD・SCIENCE 4 月 18 日)

### 規格基準型特保、夏前にも許可申請受付開始

厚生労働省は、「規格基準型特定保健用食品」の許可申請受け付けを夏前にも開始する。規格基準型特保は許可実績のある十種の関与成分で検討されており、含有食品に対し薬食審の個別審査なしに厚労省

で基準適合を判断する。規格基準型特保では有効性試験が不要となり、過剰摂取試験での安全性確認のみで申請できる。また「条件付き特保」は、一定有効性があるものの身体での作用機序が不明な食品について「科学的根拠が必ずしも確立されていない」との表示追加を条件に特保認定するもの。「疾病リスク低減」は現在、カルシウムと葉酸のみで表示可能。それぞれ骨粗鬆症、胎児の神経管閉鎖障害のリスクを低減できるとの科学的根拠が十分と判断された。医薬品以外で疾患名を出した有効性表示が行える最初の例となる。(化学工業日報 4月18日)

## REGULATORY NEWS

### 公取委、ダイエット食品に排除命令

「しっかり食べて引き締めてキレイにやせられる」などと、ダイエット食品の広告を女性誌に掲載した通信販売会社、日商ストックマネージメントに対し、公正取引委員会は18日、広告の合理的根拠を示さなかったとして景品表示法違反(優良誤認)で排除命令を出した。公取委によると、同社はスティック状の菓子「パーフェクトダイエット」(30本入りで1万5800円)の販売をめぐる、女性向けファッション雑誌の04年1月号の見開き広告で、「毎日朝食代わりに食べるだけの簡単なダイエット」などと宣伝。「体に詳しいナースにも大好評」と紹介し、「看護師」5人のダイエット成功談も掲載した。公取委が同社に広告の裏付けとなる資料の提出を求めたところ、期限内に書類を提出しなかったという。(asahi.com 4月18日)

### 「がんに効くアガリクス」出版社、薬事法違反容疑で自宅捜査

がん患者の体験記を紹介した書籍のなかで「がんに効くアガリクス」などと特定商品の広告をしたなどとして、警視庁が今月、東京都港区の「史輝出版」と、都内の健康食品販売会社など数カ所を薬事法違反(承認前の医薬品の広告、無許可販売)の疑いで自宅捜索していたことが分かった。警視庁は、同社が多くの出版物で広告を繰り返していたとみており、悪質と判断した。出版物の内容を広告とみなして捜査対象とするのはきわめて異例だ。警視庁は出版物の記載内容が広告に該当するか、憲法で保障する言論・出版の自由を侵さないかといった点を慎重に検討。(1)巻末の問い合わせ先の電話番号に連絡すれば特定の商品を買える仕組みだった(2)他の商品より効き目が速く安全性が高いなどと優位性を強調している——といったことから、本の内容は広告である疑いが強いと判断したとみられる。(asahi.com 4月19日)

### 厚生労働省、生活習慣病予防でメタボリック症候群に警鐘

厚生労働省が来年の医療制度改革の柱とする生活習慣病の総合的な予防対策の基本方針が20日、明らかになった。糖尿病、脳卒中などに加え、個々の診断値は深刻でなくても高脂血や血糖値異常などが複合して心臓病などの危険を高めるメタボリック症候群にも着目して警鐘。比較的早い段階から健康状態をチェックし、健康診断と事後の生活改善指導を徹底する体制の整備、啓発活動などの対策を進めていく。(共同通信 4月21日)